

アジアオストミー協会東京宣言

我々、2008年11月14日から16日に東京で開催された「第6回アジアオストミー協会大会」に集まった参加協会のすべての代表、その家族、医師、ET/WOC 看護師、オストミー製品関連企業及び多くのアジアのオストメイト支援者は、国によっては比較的良好なサービスとケアを享受してはいるが、アジアの多くのオストメイトはより良いQOLの達成にさまざまな困難を抱えていることを深く憂慮し；

大会の講演、発表や討論において、オストメイトの確固とした国内組織、同憂者の相互支援方式、訓練されたより多くの医学及び看護の専門家、良質でかつ購入可能な価格のオストミー製品の開発、社会的認識及び中央と地方の政府の支援の必要性に焦点が当てられたことに鼓舞され；

社団法人日本オストミー協会が2007年から2008年にかけて実施し報告した、世界のオストメイトの実態に関する調査の重要性を認識し；

大会において特別なフォーラムを組織し、彼らが直面する特有の課題について討論し、国際オストミー協会の20/40グループの枠組みのもとで彼らのアジア・ネットワークを創設しようとしている若いオストメイトの努力を評価し；

アジアのオストメイトの友好と連帯が大会を通じて強化され深まったことを確信し；

国際オストミー協会のオストメイト権利憲章の原則及び国際オストミー協会とアジアオストミー協会の憲章・使命・活動を想起し；

AOA東京大会を大成功させるためにホスト協会の日本オストミー協会が払った努力に深く感謝し；

アジアのオストメイトのより良いQOLを達成し、彼らが幸福な生活を満喫できるようにするため、ここに次の宣言を採択する。

1. アジアのすべてのオストメイトはAOAのもとに団結し、AOAのすべての加盟協会はAOAの使命と活動の範囲内で相互の関係と協力を一層深め拡大する。
2. 我々は、何らの相互支援や社会的ケアを受けられずに孤立しているオストメイトに対し、団体や協会を創るために支援や助言を提供することを躊躇しない。

- 3 . 我々は、医療及び看護の専門家が、合併症や健康上及び社会的問題に悩むすべてのオストメイトに援助の手を差し伸べるよう強く勧告する。
- 4 . 我々は、上記3を成し遂げるために、アジアのすべての国において責任ある機関と医療専門家が、資格のある医師と看護師を増やすあらゆる努力を行うよう期待する。
- 5 . 我々は、アジア諸国のすべての政府に対し、オストメイトの緊急のニーズを考慮し、政府の支援計画を策定しそれを実施するよう訴える。
- 6 . 我々は、オストミー製品関連企業に対し、より良い製品を開発しそれらがあらゆる低所得のオストメイトにも利用できるようにするよう、強く促す。
- 7 . 我々は、あらゆる機会を捉えて、一般の人々と社会がオストメイトの存在とそのニーズをより良く理解するよう努める。

この宣言は、第6回AOA東京大会の期間中、2008年11月15日の第11回代表団会議において採択され、大会最終日のシンポジウムにおいて参加者全員により追認された。